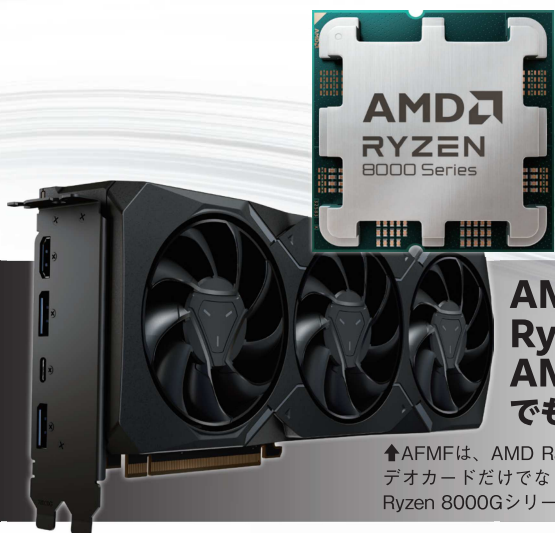


# 「AFMF」でゲームの フレームレートが爆増!



**AMD  
Ryzen 8000G、  
AMD Radeon  
でも使える!**

↑AFMFは、AMD Radeon RX 6000以降のビデオカードだけでなく、GPUを内蔵するAMD Ryzen 8000Gシリーズでも利用できる。

**数千種類のゲームがAFMFに対応!**

## ゲームのAFMF対応条件

DirectX 11  
対応

DirectX 12  
対応

フルスクリーン  
モード

## 対応AMD Radeon

RX 7000  
シリーズ

RX 6000  
シリーズ

700Mシリーズ  
(CPU内蔵)

↑これら条件に該当するゲームやビデオボードは多いため、AFMFは多くのゲームで利用できる。ゲームメーカー側が新たに開発作業をする必要がない点も隠れたメリットだ。

## AFMFのイメージ

### Radeon



↑↑AFMFの仕組みは、ゲーム映像のフレームとフレームの間に、新しいフレームをGPUが生成して挿入するというもの。これにより、フレームレートが大きく向上するのだ。

1コマ目を画面に表示せず、  
2コマ目を待つ

2コマ目

ゲーム画面  
1コマ目

(60fpsなら50.03秒)

1コマ目と2コマ目の間に  
新たに1aコマを生成

2コマ目

1aコマ目

ゲーム画面  
1コマ目

フレームレートを向上させ  
画面に表示

2コマ目

1aコマ目

ゲーム画面  
1コマ目

**ドライバーソフトが自動で処理**

**AMDがゲームを  
快適にするソフトを開発**

AMDといえばAMD Ryzen nやAMD Radeonがおなじみだが、その性能を引き出すソフトウェアや技術の開発にも力を入れている。例えばゲーム関連でいえば、「AFMF」(AMD Fluid Motion Frames)が代表例だ。下の図にまとめたように、ゲーム映像にGPUが新たに生成したフレームを挿入する技術で、フレームレート(1秒間の描画回数を大きく向上させる。FPSのなかには不向きなタイトルはあるものの、多くのゲームでなめらかな描写が楽しめるようになる。

**AFMFを有効に  
して試してみよう**

AFMFのメリットは、DirectX 11/12に対応しているすべてのゲームで利用できることだ。プレイヤーは、フルスクリーンでゲームを動かすだけで、高フレームレートのなめらかな描画を満喫できる。また「AMD Radeon RX 6000」シリーズ以降の外付けGPUに加えて、「AMD Radeon 700M」を内蔵するAPU「AMD Ryzen 8000」シリーズをサポートしている点に注目。コストを抑えてゲーミングPCを自作するなら狙い目だ。

## AFMFもバッチリ! 1クリックでゲームが快適になる 「AMD HYPR-RX」が便利すぎる

「AMD HYPR-RX」とは、AMDの管理ユーティリティソフト「AMD Software : Adrenaline Edition」上で稲妻アイコンを1クリックするだけで、インストール済みのゲームごとにさまざまな独自機能が一括で有効になるというもの。個別の機能の詳細が分からなくても、AFMFやタイムラグを減らす「AMD Anti-Lag」をはじめ、ゲームが対応している機能が自動で有効になるので便利だ。

→目印は、稲妻のようなアイコンだ。1クリックするだけで、AFMFやAnti-Lagといった独自機能がゲームごとに自動でまとめてオンになる。

